

取扱説明書

Wi-Fi 対応バックカメラ



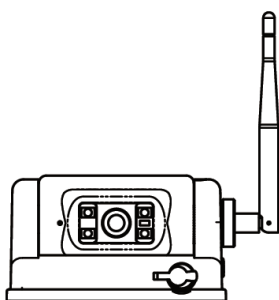
本取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
後で参照できるように保管しておいてください。

VI.0

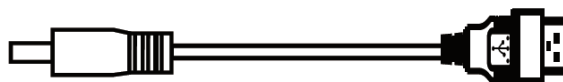
目次

パッキングリスト	2
外観	3
機器のインストール	4
APP のダウンロードとインストール	5
デバイスの接続-Android	5
デバイスの接続-iOS	6
機能と仕様	6
デバイス構成	7
機器のアップグレード	9
Q&A	10
FCC 警告	11

パッキングリスト



1. Wi-Fi カメラ

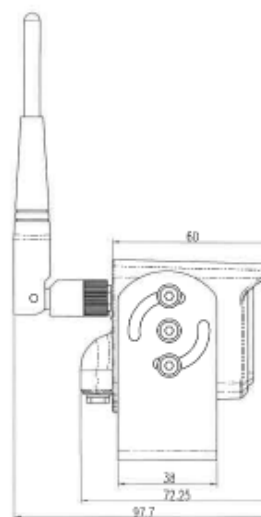
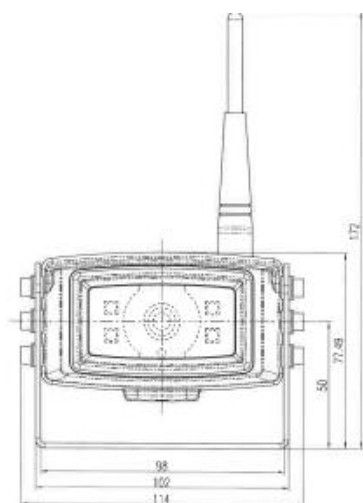
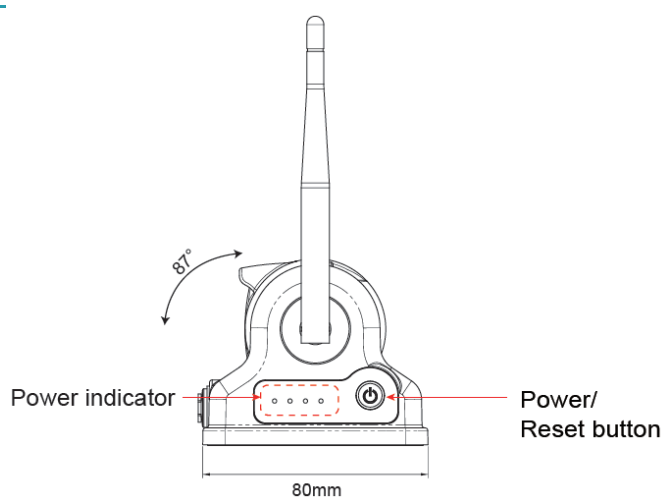
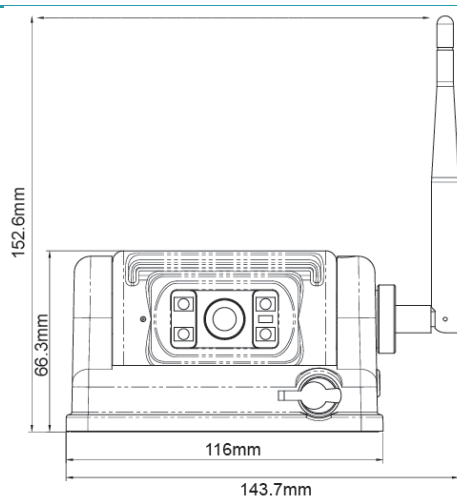


2. USB 充電ケーブル



3. マニュアル

外観



■ 充電状態インジケータ



0～25%

①のランプが点滅し、それ以外のランプは消灯します。



25%～50%

①が点灯、②が点滅、③④が消灯



50～75%

①②が点灯、③が点滅、④が消灯



75～100%

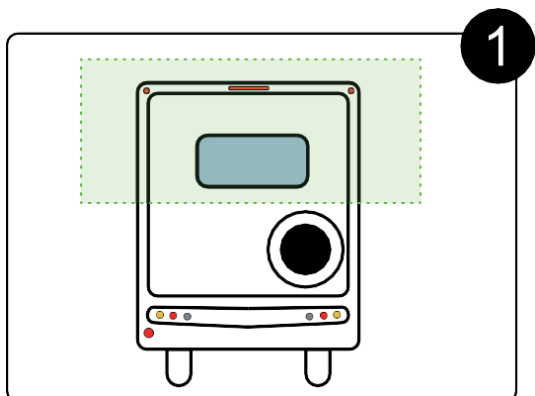
①②③が点灯、④が点滅



スタンバイモード

光②③はゆっくりと安定して暗く明るくなります。

機器のインストール



取り付け面が清潔で、鉄、コバルト、またはニッケルでできていることを確認します。

カメラの背面にある電源ボタンを押してオンにすると、デバイスをモバイルアプリで検索できるようになります。ボタンを2回押してデバイスをリセットすることもできます。QRC-C873DW は常時電源供給となりますので同梱されている電源先バラを接続してください。それによりデバイスをモバイルアプリで検索できるようになります。

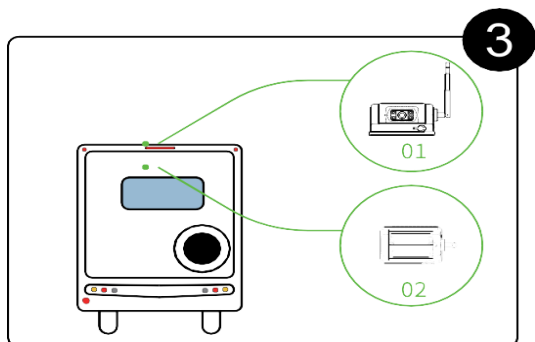
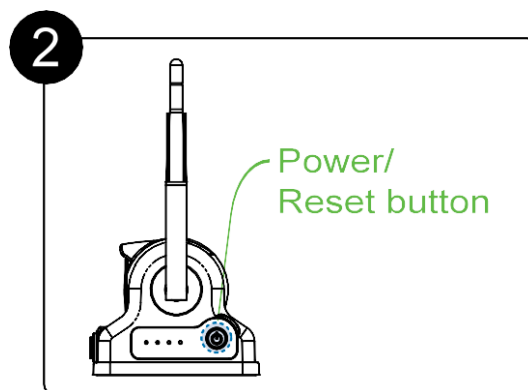
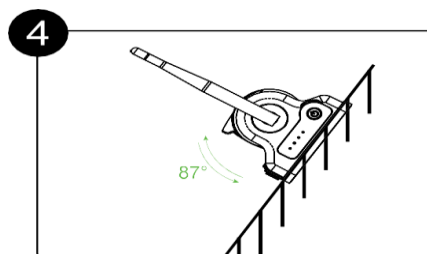


図 01、02 に示すように、カメラを車の後部上部または後部に取り付けます。お客様に最適な方法をお選びいただけます。

両側のトルクスネジを緩め、必要に応じて角度(最大 87°)を調整し、調整後にネジを締めます。



APP のダウンロードとインストール

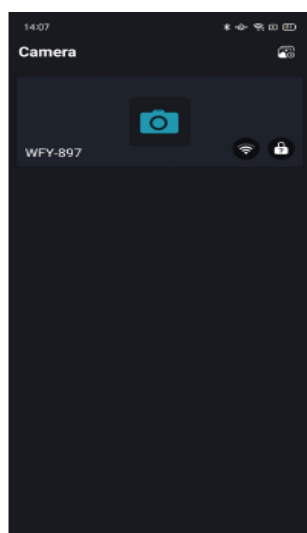
以下の QR コードを読み取って、お使いの携帯電話バージョンに対応したアプリをダウンロードしてインストールしてください。また、「Google Play」や「APP Store」で「Vehicle Viewer」を検索し、クリックしてダウンロードしてインストールすることもできます。



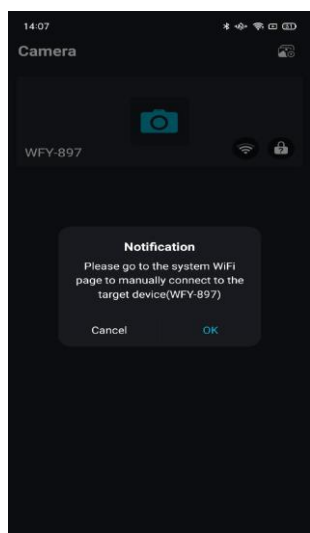
デバイスの接続-Android

アプリを開き、デバイスを選択して Wi-Fi 経由で接続します。アプリに戻ると、ライブビデオのプレビューを見ることができます。

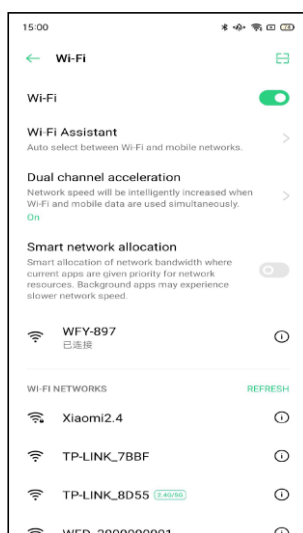
注:ホットスポット名は「WFY-XXXXXX」で、デフォルトのパスワードは空です。



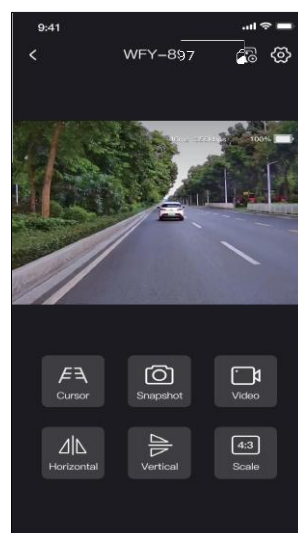
①



②



③

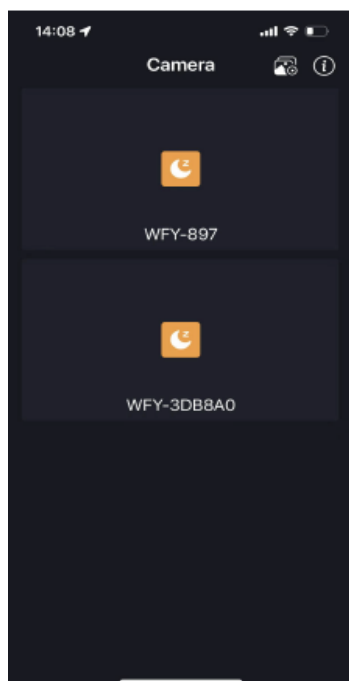


④

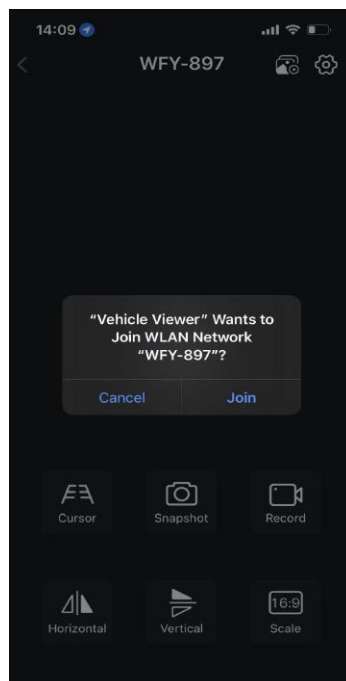
デバイスの接続-iOS

アプリを開いて接続するデバイスを選択します。[参加]をクリックすると、システムは自動的にデバイスを接続し、リアルタイムビデオインターフェイスに入ります。最初に接続するとき、デフォルトではログインパスワードは空です。

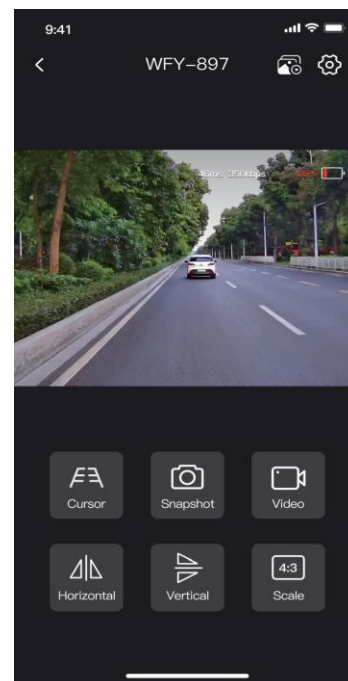
ログイン後、デバイスリストで対応するデバイスを長押しするか、設定インターフェイスでパスワードを変更できます。



①



②



③

注: 1 台のカメラは、同時に 1 台の携帯電話にのみ接続できます。

機能と仕様

1. 主な機能

- (1)スマート省電力モード:Wi-Fi カメラは、モニタが動作しなくなったときに省電力モードに入ることができます。バッテリーの消耗を避けるために、カメラの電源を切ることをお勧めします。
- (2)再充電可能バッテリー
- (3)マグネットマウント
- (4)ポータブルで設置が簡単。
- (5)Android および iOS システムをサポートすること。
- (6)バッテリー待機時間:90 日。

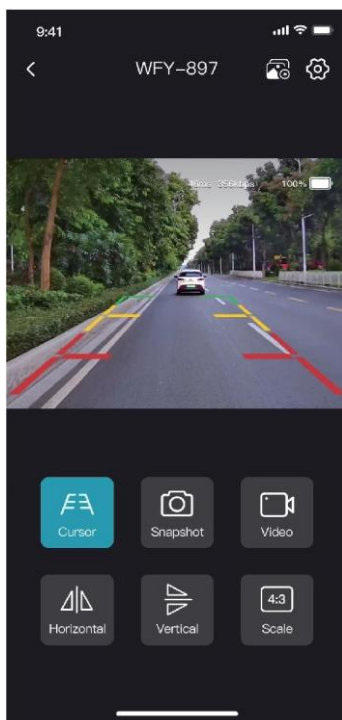
2. 仕様

- ・ 電池容量:3.6V/6400mAh。
- ・ 充電電圧:DC 5~12 V。
- ・ 充電時間:5V/8H、12V/3H。
- ・ 放電時間:12H(昼)5H(夜)
- ・ 充電温度:0℃~+40℃
- ・ 吐出温度:-20℃~+60℃
- ・ 保存温度:-20℃~+60℃
- ・ 防水性能:IP69K。
- ・ イメージデバイス:1/2.9インチ CMOS。
- ・ 有効画素数:1920(H)×1080(V)。
- ・ 伝送距離(バリアフリー)最大 60m(20 dBm)。
- ・ Wi-Fi 送信電力:FCC:≤26 dBm、CE:≤20 dBm、MIC:≤10 dBm。
- ・ 暗視距離:8~10 m。
- ・ 視野角:120°。
- ・ スマート IR カット:有。

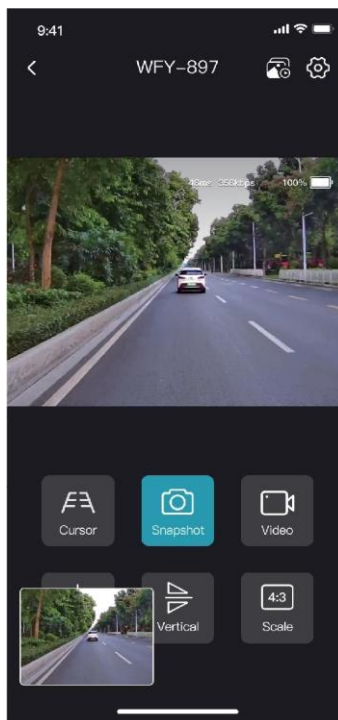
デバイス構成

デバイスを接続した後、リアルタイムで画面を監視したり、スクリーンショットを撮ったり、ビデオを録画したり、画面の向きやスケールを調整したり、デバイスのパラメータを設定したり、デバイスをアップグレードしたりすることもできます。

1. パーキングラインの設定



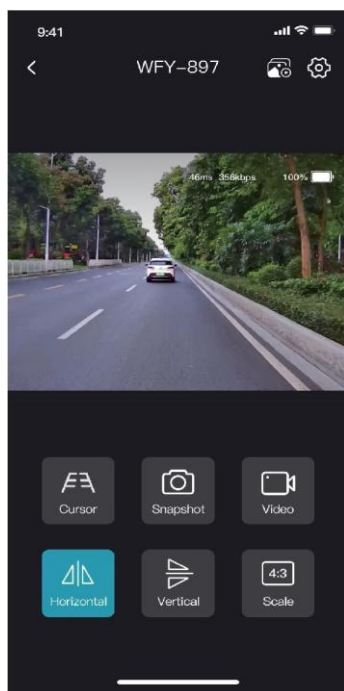
2. ビデオスクリーンショット



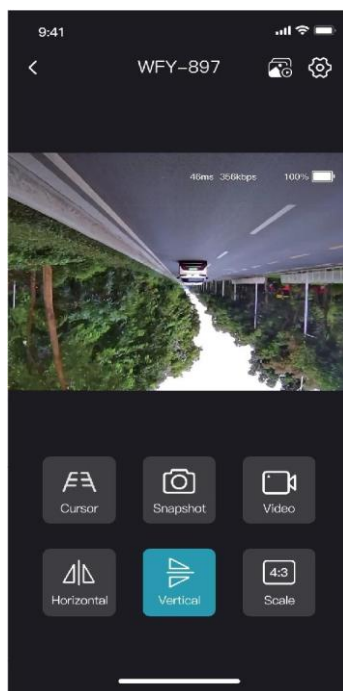
3. ビデオ録画



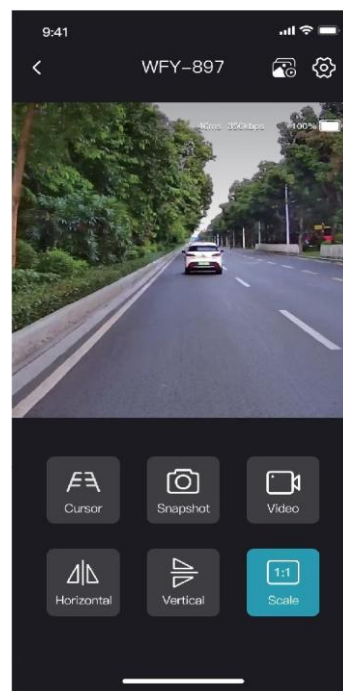
4. 水平反転



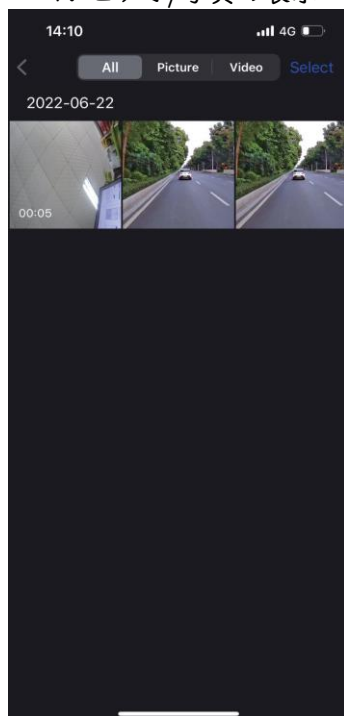
5. 垂直反転



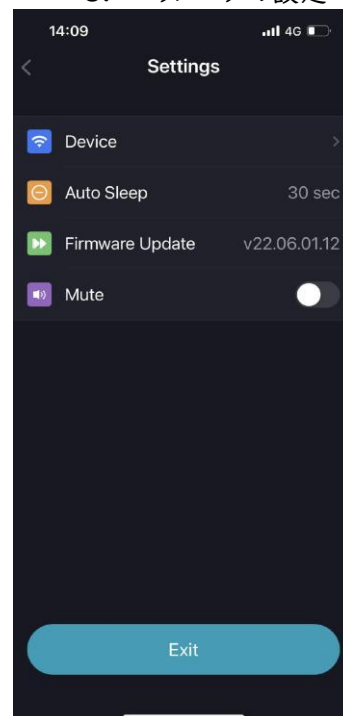
6. アスペクト比



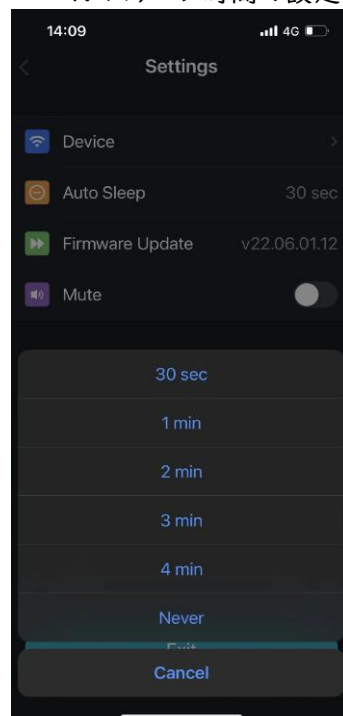
7. ビデオ/写真の表示



8. パラメータの設定



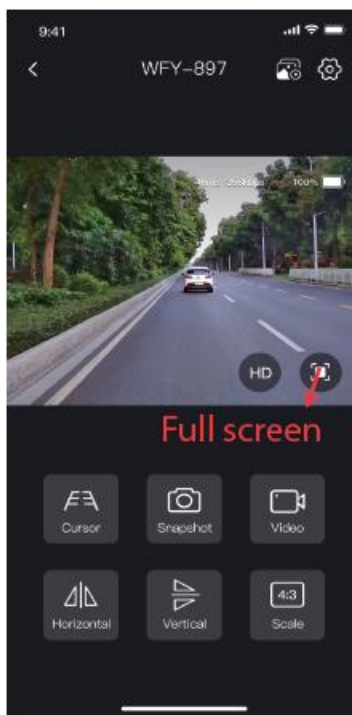
9. スリープ時間の設定



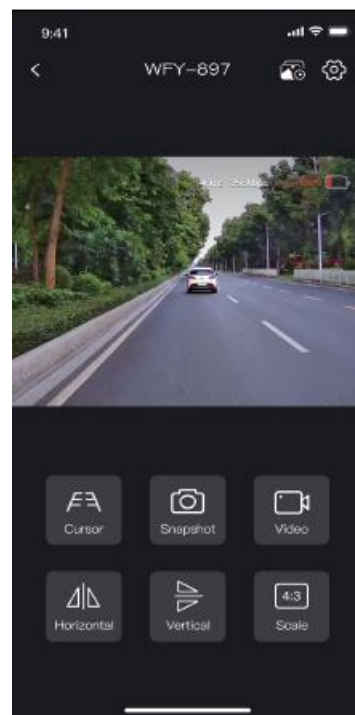
10. HD/SD



11. フルスクリーン



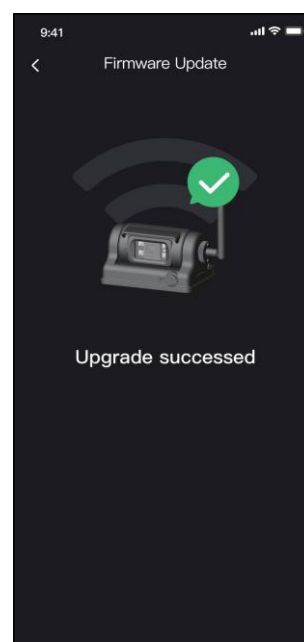
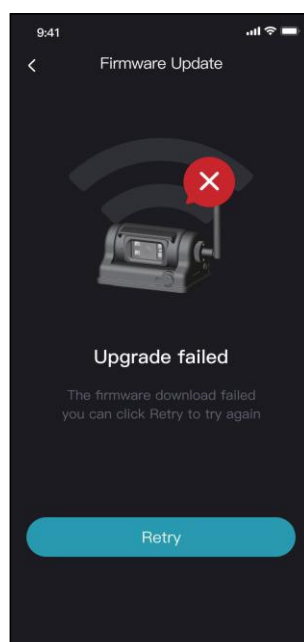
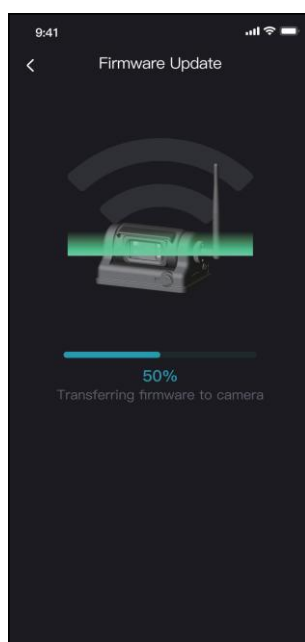
12. バッテリー低下の通知



注:HD は高品位、SD は標準精細度を表します。Wi-Fi 信号が弱い場合は、SD に切り替えて、滑らかなリアルタイムビデオやより良い画像を保証することをお勧めします。

機器のアップグレード

デバイスを接続したら、ライブビデオの右上隅にある設定サインをクリックして設定インターフェイスに入り、「ファームウェアアップデート」を選択してデバイスをアップグレードします。



Q&A

1. デバイスが接続できない場合はどうすればよいですか？

- ①まず、機器の電源が入っていることを確認してください。
- (2)「はい」の場合は、デバイスに十分な電力が供給されていることを確認してください。
- (3)「はい」の場合は、電話機の設定を開き、WLAN を更新して再接続してください。(ホットスポット名:WFY-xxxxxx)。
- (4)WLAN リストにデバイス Wi-Fi がない場合は、ロケーション許可が付与されていることを確認してください。認可後、デバイス Wi-Fi を検索して接続できます。
- (5)上記(1)(2)(3)(4)の手順を行っても接続できない場合は、デバイスをリセットしてください。
- (6)上記の方法がすべてうまくいかない場合は、ご連絡ください。

2. ビデオストリーミングの途中で画面が突然黒くなったのはなぜですか？

- (1)まず、バッテリーの状態を確認してください。電源が切れている場合は、使用する前に充電してください。
- (2)デバイスに十分なバッテリーがある場合は、Wi-Fi をオフにしてからオンにし、デバイスを再接続してください。
- (3)それでも動作しない場合は、デバイスをリセットしてください。
- (4)上記の方法がすべてうまくいかない場合は、ご連絡ください。

3. デバイスが突然シャットダウンしたのはなぜですか？

- (1)デバイスに十分な電力が供給されているか確認してください。
- (2)電源が切れた場合は、使用する前に充電してください。
- (3)充電が完了したら、アプリを再起動してみてください。
- (4)上記の方法がすべてうまくいかない場合は、ご連絡ください。

4. 同じデバイスアカウントを別の電話と共有できますか？

いいえ。1つのデバイスに同時に接続できる携帯電話は1つだけです。別の電話でデバイスにログインする必要がある場合は、デバイスを切断し、新しい電話に再接続してください。

5. デバイスが正しく動作するためには、どのような電話の許可が必要ですか？

位置許可、フォトアルバム許可、Bluetooth 許可、ネットワーク許可、マイク許可。デバイスを正しく実行するために、上記の許可が許可されていることを確認してください。

6. デバイスをスリープモードから復帰させる方法は？

アプリを開いて、デバイスリストで起動する必要があるデバイスをクリックしてください。デバイスが見つからない場合は、以下のリストを試してください。

- (1)デバイスの Wi-Fi を再接続します。
- (2)アプリをもう一度開くと、リアルタイムビデオインターフェイスが表示されます。

FCC 警告

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は、次の 2 つの条件に従います。

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければなりません。

注 1: この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠してテストされ、クラス B デジタルデバイスの制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの合理的な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設備で干渉が発生しないという保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を切ったり入れたりすることによって確認できます)、次の 1 つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

注 2: 適合責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。